

6月 (水無月・風待月・葵月) June

〇メッセージ

6月が始まり、梅雨の時期が近づいてきました。雨が降ることが多い時期なので、室内でのんびり読書というのはいかがですか!?

6月が終わり7月入ると、あっという間に夏休みとなります。もっとも長い休みを上手に使えるように、6月のうちに取り組みたいことを考えてみてください。

〇連絡

図書館講座を6月22日に行ないます

詳しくは裏面を見て下さい

皆さんの参加をお待ちしています

〇6月の花言葉と誕生石

◇6月の花言葉◇

アジサイ: 移り気・辛抱強い愛情
ハナショウブ: やさしい心

◇6月の誕生石◇

ムーンストーン: 健康・長寿・富

地球異変/朝日新聞社編

地球の「異変」を集めて、写真等を使って紹介した本。氷河の減少や、森林の破壊、沈む島、拡大する砂漠など、日常生活の中では気付かない地球の変化がまとめられています。インパクトの大きな写真によって、現状を知ることができます。(ランダムハウス講談社 2008年)

「見る」



世界遺産関連の本

世界遺産は、「文化」や「自然」の中で人類や地球の宝として未来へ引き継ぎたいものを、「文化遺産」や「自然遺産」等として選び、登録されています。豊かな文化や自然を持った世界遺産について、写真を使って紹介している本が何冊もあるので、ぜひ手にとってみてください。

環境が分かる絵本 改訂新版

/佐伯平二文 長崎訓子絵

タイトルに「絵本」とありますが、イラストと説明を組み合わせた本です。身近な環境にはじまり、地球環境や地球の力を取り戻すための方法が載っています。それぞれのページごとに、イラストや印象に残る見出しが付けられているので、気になるページがあったらぜひ読んでみてください。(山と溪谷社 2007年)



環境を「知る」

エコザウルス カウントダウン

/本田亮・椎名誠

人間の行動を、わがまま放題の恐竜「エコザウルス」に見立てて紹介した本。エコザウルス達は、様々な危機的状況に直面しますが、未来の地球がそのような状況にはなつて欲しくないと思える本です。(小学館 2008年)

地球データマップ

/NHK「地球データマップ」製作版編

地球の様子を、地図やグラフなどを使って説明した本。夜の地球の写真(経済力の強い国は明るく、そうでない国は暗い)や飢餓マップ(栄養不足人口の割合を表したもの)など、他の国の様子を知ることができます。世界の中で、日本はどのような位置づけの国といえるのか、知ってみませんか。(日本放送出版協会 2008年)

新子どもたちが地球を救う

/地球を救う50の方法製作委員会

身近に出来る50の方法を集めた本。残さず美味しく食事をしたり、自然と親しんだり、物を大切に使うたりと、身近に出来ることも沢山紹介されています。環境に関することを知って、実際に行動に移すという段階になると身構えてしまいがちですが、まずは身近に出来ることを選んで、挑戦してみてください。(ブロンズ新社 2009年)



「身近」にできることを

もったいない/プラネット・リンク

4年前に出版されて話題になった本なので、知っている人が多いかもしれませんが、「もったいない」という言葉を広めて、ノーベル平和賞を受賞した方の本です。とても読みやすい本なので、ぜひ手にとってみてください。(マガジンハウス 2005年)

エコ*コモノ/平田美咲

お菓子のパッケージを使った小物の作り方を紹介した本。身近に手に入るものを再利用しつつ、自分で作った小物は愛着がわくので、長い間大切に使用したいという気持ちが生まれるように思います。

ペットボトルや紙などを再利用した、生活小物の本も色々あるので、興味がある人はそちらも参考にして下さい。(青山出版社 2008年)